

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年2月13日

【四半期会計期間】 第16期第3四半期(自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

【会社名】 2 1 L A D Y株式会社

【英訳名】 21LADY Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤井 道子

【本店の所在の場所】 東京都千代田区二番町5番地5

【電話番号】 03-3556-2121

【事務連絡者氏名】 取締役 北川 善裕

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区二番町5番地5

【電話番号】 03-3556-2121

【事務連絡者氏名】 取締役 北川 善裕

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次                               | 第15期<br>第3四半期<br>連結累計期間      | 第16期<br>第3四半期<br>連結累計期間      | 第15期                        |
|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間                             | 自 平成25年4月1日<br>至 平成25年12月31日 | 自 平成26年4月1日<br>至 平成26年12月31日 | 自 平成25年4月1日<br>至 平成26年3月31日 |
| 売上高 (千円)                         | 2,361,691                    | 2,176,839                    | 3,068,563                   |
| 経常損失 ( ) (千円)                    | 16,884                       | 62,716                       | 40,598                      |
| 四半期(当期)純損失 ( ) (千円)              | 27,487                       | 73,385                       | 58,162                      |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円)               | 27,487                       | 73,385                       | 58,162                      |
| 純資産額 (千円)                        | 3,657                        | 32,375                       | 22,630                      |
| 総資産額 (千円)                        | 1,030,494                    | 1,088,631                    | 848,665                     |
| 1株当たり四半期(当期)<br>純損失金額 ( ) (円)    | 7.05                         | 16.75                        | 14.92                       |
| 潜在株式調整後1株当たり<br>四半期(当期)純利益金額 (円) |                              |                              |                             |
| 自己資本比率 (%)                       | 0.4                          | 3.0                          | 2.7                         |

| 回次                    | 第15期<br>第3四半期<br>連結会計期間       | 第16期<br>第3四半期<br>連結会計期間       |
|-----------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間                  | 自 平成25年10月1日<br>至 平成25年12月31日 | 自 平成26年10月1日<br>至 平成26年12月31日 |
| 1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円) | 5.52                          | 11.05                         |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第15期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失が計上されているため記載しておりません。第15期及び第16期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失が計上されているため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

当社グループは、当第3四半期連結累計期間において、営業損失59,815千円、経常損失62,716千円、四半期純損失73,385千円を計上しております。また、前連結会計年度末時点において22,630千円の債務超過となり、株式会社名古屋証券取引所セントレックス市場の上場廃止基準にかかる猶予期間に入りました。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような重要事象等が存在していると認識しておりますが、「3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」に記載のとおり、当該状況の改善に全力を挙げて取り組んでまいります。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において開示いたしました当社の子会社である株式会社洋菓子のヒロタ千葉工場の土地及び建物の譲渡契約及び賃貸借契約につきまして、譲渡の日程を変更いたしました。変更後の契約の概要は以下の通りです。

#### (1) 譲渡日程変更内容

当初物件引渡期日：平成26年12月下旬（予定）

変更後物件引渡期日：平成27年2月28日

引渡時期の変更により、譲渡先との賃貸借契約は平成27年3月1日から発生いたします。

#### (2) 譲渡日程変更理由

買主からの要請によるものであります。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策の効果により、景気回復への期待感が高まったものの、消費税率引き上げに伴う影響の長期化や、物価の上昇に伴う消費者の景況感の悪化などにより、国内外を取り巻く経済環境は依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは、ヒロタ・イルムス両事業におきまして、引き続き選択と集中による既存直営店強化を中心に、新商品の投入を含めた商品構成の見直し、人材教育による販売力強化及び経営改善計画の達成を目指し取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,176,839円（前年同四半期比7.8%減）、営業損失59,815千円（前年同四半期は14,904千円の営業損失）、経常損失62,716千円（前年同四半期は16,884千円の経常損失）、四半期純損失73,385千円（前年同四半期は27,487千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別には、次のとおりであります。

#### ヒロタ事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、2014年10月1日に創立90周年を迎えました。これを契機に、直営店におきましては、創立90周年イベント商品の積極的な販売・トレインチャンネル等のマスメディア媒体やインターネットでの広告宣伝を行いました。また、クリスマス・ハロウィン等のイベント強化を図ると共に、12月に既設店舗の活性化として新越谷ヴァリエ店を改装オープンし、ヒロタのブランド価値を高めてまいりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の直営店舗数は38店舗となりました。

ホールセール部門におきましては、関西における基盤を元に、関東やそれ以外のエリアを含めた取引先の拡大に努め、当第3四半期連結会計期間では売上が拡大しました。更に首都圏においての売上拡大を目指し布石を打っております。しかしながら、直営店舗、ホールセール部門共に、消費税増税や夏季における天候不順による売上減少を補うには至りませんでした。

この結果、売上高は1,482,942千円（前年同四半期比5.9%減）、営業損失は18,140千円（前年同四半期は36,622千円の営業利益）となりました。

#### イルムス事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、新規直営店イルムス大津のオープン及び阪急うめだでの北欧フェア開催への新規参加により売上拡大を図ると共に、既存店による北欧の秋冬商品・クリスマス商品を展開することによって、イルムスのブランドの価値を高めつつ、売上高・利益額拡大に努めてまいりました。

コーポレート部門におきましては、既存取引先の三越伊勢丹及び新規取引先の開拓によって、ブランド監修・セールスプロモーションなどの大口案件を獲得することができ、好調に推移いたしました。

また、当第3四半期連結会計期間末の総店舗数は14店舗となりました。

この結果、売上高は693,896千円（前年同四半期比11.7%減）、営業損失は12,183千円（前年同四半期は17,717千円の営業損失）となりました。

#### (2)財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ239,966千円増加し、1,088,631千円となりました。これは、流動資産が254,180千円増加、固定資産が17,026千円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ249,711千円増加し、1,121,007千円となりました。これは主に、流動負債において買掛金が82,991千円、未払金が57,970千円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9,744千円減少し、32,375千円となりました。これは主に、株主資本において利益剰余金が73,385千円減少したこと及び自己株式103,923千円を全額処分したことによるものであります。

#### (3)研究開発活動

該当事項はありません。

#### (4)事業等のリスクに記載した重要事象等を改善するための対応策

当社グループは、ヒロタ事業・イルムス事業において、経営改善計画を策定し実行してまいりましたが、当第3四半期連結累計期間において、営業損失59,815千円、経常損失62,716千円、四半期純損失73,385千円を計上しております。また、前連結会計年度末時点において22,630千円の連結債務超過となり、株式会社名古屋証券取引所セントレックス市場の上場廃止基準にかかる猶予期間に入りました。平成26年5月29日付で株式会社ページワンを引受先とした第三者割当により自己株式498,500株を価額総額46,360千円で処分し、第1四半期連結会計期間末より資産超過となりましたが、当第3四半期連結会計期間末において再び32,375千円の連結債務超過となりました。しかし、平成26年9月26日付で締結した当社保有の土地及び建物に関する譲渡契約については、第4四半期中に譲渡が完了する見込みであり、また発行済新株予約権の引き受け予定先の選定も絞り込まれていることから、当該債務超過は当連結会計年度末までに解消される予定であります。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような重要事象等が存在していると認識しておりますが、この事象を解消し、又は改善するため下記の施策に取り組んでおります。

##### 新株予約権の発行による資本増強

##### ヒロタ事業・イルムス事業における収益力強化

資本増強につきましては、その一環として平成26年2月14日付の取締役会において、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社を引受先とした新株予約権960,000株相当（92,160千円相当）の発行を決議したところ、第1四半期連結会計期間末までに70,000株（6,720千円相当）、第2四半期連結会計期間末までに40,000株（3,840千円相当）、当第3四半期連結会計期間においても110,000株（10,560千円相当）、合計220,000株（21,120千円相当）が権利行使されており、財政状態の改善及び資金調達が進んでおります。これらに加え、発行済新株予約権の引き受け予定先の選定が絞り込まれており、また、新株発行による資金調達も検討しており、更なる資本増強策の推進に努めております。

収益力強化につきましては、ヒロタ事業・イルムス事業において、以下の施策を実行いたします。

#### ヒロタ事業

株式会社洋菓子のヒロタは、主力商品であるオリジナルシュークリーム・シューアイスを更にブラッシュアップすると共に、ギフト等の新商品による販売拡大を図り、ヒロタのブランド価値を高めつつ、今後の安定した収益を確保してまいります。また、1月には収益力拡大のための組織体制の強化と流通部門の売上拡大のために、経営管理に関する知識及び経験が豊富な人材を外部より迎えて抜本的な組織改革を行い、2月には、経営改善委員会を発足し、強大なリーダーシップを発揮させることで更なる経営の改革・改善を図ってまいります。

2月より国際事業本部を創設し、本格的な輸出事業の参入による海外における売上拡大  
千葉工場における稼働率アップ及び製造原価の削減並びに新たな設備投資による新商品の開発  
ホールセール部門の更なる全国エリア拡大及びインターネットを活用した自社サイト等の売上拡大  
店舗改装を含めた既存店舗の活性化及びバレンタインデーとホワイトデーのイベント強化

#### イルムス事業

北欧家具・生活雑貨を取り扱う株式会社イルムスジャパンは、ブライダルフェア及び新入学フェア等の企画をスタートし、第4四半期に向けて更なる売上拡大を図り、通期の営業利益の黒字化を目指します。

店舗におけるシーズンに合わせた様々なフェアを行うことによる売上拡大  
コーポレート営業の他企業とのコラボレーションによる新規案件の獲得増  
店舗での取引先ブランドとのコラボレーションによる売上拡大

当社グループといたしましては、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しておりますが、上記の各施策を確実に実行することにより連結債務超過は解消され、業績の改善が図られるため、資金繰り面での懸念もなく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しておりますので、四半期連結財務諸表の注記には記載しておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 17,570,000  |
| 計    | 17,570,000  |

###### 【発行済株式】

| 種類   | 第3四半期会計期間末<br>現在発行数(株)<br>(平成26年12月31日) | 提出日現在発行数(株)<br>(平成27年2月13日) | 上場金融商品取引所<br>名又は登録認可金融<br>商品取引業協会名 | 内容       |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|----------|
| 普通株式 | 4,614,700                               | 4,614,700                   | 名古屋証券取引所<br>(セントレックス)              | (注)1.2.3 |
| 計    | 4,614,700                               | 4,614,700                   |                                    |          |

- (注) 1 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。  
 2 単元株式数は100株であります。  
 3 「提出日現在発行数」欄には、平成27年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                           | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金増減額<br>(千円) | 資本金残高<br>(千円) | 資本準備金<br>増減額<br>(千円) | 資本準備金<br>残高<br>(千円) |
|-------------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成26年10月1日～<br>平成26年12月31日(注) | 110,000               | 4,614,700            | 5,311          | 110,622       | 5,311                | 110,622             |

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成26年12月31日現在

| 区分             | 株式数(株)         | 議決権の数(個) | 内容                        |
|----------------|----------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式         |                |          |                           |
| 議決権制限株式(自己株式等) |                |          |                           |
| 議決権制限株式(その他)   |                |          |                           |
| 完全議決権株式(自己株式等) |                |          |                           |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式 4,614,500 | 46,145   | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 単元未満株式         | 普通株式 200       |          |                           |
| 発行済株式総数        | 4,614,700      |          |                           |
| 総株主の議決権        |                | 46,145   |                           |

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

## 【自己株式等】

該当事項はありません。

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年10月1日から平成26年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、才和有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| <b>資産の部</b>   |                         |                               |
| 流動資産          |                         |                               |
| 現金及び預金        | 76,578                  | 171,812                       |
| 売掛金           | 225,002                 | 330,589                       |
| 商品及び製品        | 92,392                  | 120,178                       |
| 仕掛品           | 1,566                   | 3,782                         |
| 原材料及び貯蔵品      | 28,849                  | 38,142                        |
| その他           | 14,134                  | 27,979                        |
| 貸倒引当金         | 450                     | 230                           |
| 流動資産合計        | 438,074                 | 692,255                       |
| 固定資産          |                         |                               |
| 有形固定資産        |                         |                               |
| 建物及び構築物(純額)   | 160,302                 | 147,794                       |
| その他           | 130,155                 | 128,256                       |
| 有形固定資産合計      | 290,457                 | 276,051                       |
| 無形固定資産        |                         |                               |
| のれん           | 4,380                   | 3,351                         |
| その他           | 29,753                  | 31,236                        |
| 無形固定資産合計      | 34,134                  | 34,587                        |
| 投資その他の資産      |                         |                               |
| その他           | <sup>1</sup> 86,868     | <sup>1</sup> 82,794           |
| 貸倒引当金         | 3,908                   | 2,908                         |
| 投資その他の資産合計    | 82,960                  | 79,886                        |
| 固定資産合計        | 407,552                 | 390,525                       |
| 繰延資産          |                         |                               |
| 株式交付費         | 3,037                   | 5,850                         |
| 繰延資産合計        | 3,037                   | 5,850                         |
| 資産合計          | 848,665                 | 1,088,631                     |
| <b>負債の部</b>   |                         |                               |
| 流動負債          |                         |                               |
| 買掛金           | 172,618                 | 255,610                       |
| 短期借入金         | 30,371                  | 27,726                        |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 47,077                  | 41,094                        |
| 未払法人税等        | 13,966                  | 13,829                        |
| 未払金           | 299,958                 | 357,928                       |
| 前受金           | 12,979                  | 109,846                       |
| 未払費用          | 93,754                  | 104,024                       |
| その他           | 70,840                  | 89,678                        |
| 流動負債合計        | 741,567                 | 999,738                       |
| 固定負債          |                         |                               |
| 長期借入金         | -                       | 2,924                         |
| 長期未払金         | 87,808                  | 86,863                        |
| 資産除去債務        | 28,638                  | 20,391                        |
| その他           | 13,282                  | 11,090                        |
| 固定負債合計        | 129,728                 | 121,269                       |
| 負債合計          | 871,295                 | 1,121,007                     |

(単位：千円)

|              | 前連結会計年度<br>(平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成26年12月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------------|
| <b>純資産の部</b> |                         |                               |
| 株主資本         |                         |                               |
| 資本金          | 101,931                 | 110,622                       |
| 資本剰余金        | 495,319                 | 446,447                       |
| 利益剰余金        | 516,482                 | 589,867                       |
| 自己株式         | 103,923                 | -                             |
| 株主資本合計       | 23,155                  | 32,797                        |
| 新株予約権        | 524                     | 421                           |
| 純資産合計        | 22,630                  | 32,375                        |
| 負債純資産合計      | 848,665                 | 1,088,631                     |

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

|                    | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成25年4月1日<br>至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成26年4月1日<br>至平成26年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高                | 2,361,691                                    | 2,176,839                                    |
| 売上原価               | 1,124,804                                    | 1,038,631                                    |
| 売上総利益              | 1,236,887                                    | 1,138,207                                    |
| 販売費及び一般管理費         | 1,251,791                                    | 1,198,023                                    |
| 営業損失( )            | 14,904                                       | 59,815                                       |
| 営業外収益              |  |  |
| 受取利息               | 6  | 3  |
| 受取配当金              | 55   | 20   |
| 受取補償金              | 232  | 578  |
| 貸倒引当金戻入額           | 500  | 1,530  |
| その他                | 474  | 425  |
| 営業外収益合計            | 1,269  | 2,556  |
| 営業外費用              |  |  |
| 支払利息               | 3,193  | 2,604  |
| 株式交付費償却            | -  | 2,335  |
| その他                | 55   | 518  |
| 営業外費用合計            | 3,249  | 5,458  |
| 経常損失( )            | 16,884                                       | 62,716                                       |
| 特別損失               |  |  |
| 固定資産除却損            | -  | 157  |
| 減損損失               | -  | 558  |
| 貸倒引当金繰入額           | 682  | -  |
| 特別損失合計             | 682  | 715  |
| 税金等調整前四半期純損失( )    | 17,566                                       | 63,432                                       |
| 法人税、住民税及び事業税       | 10,349                                       | 10,532                                       |
| 法人税等調整額            | 428  | 579  |
| 法人税等合計             | 9,921  | 9,952  |
| 少数株主損益調整前四半期純損失( ) | 27,487                                       | 73,385                                       |
| 四半期純損失( )          | 27,487                                       | 73,385                                       |

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

|                    | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成25年4月1日<br>至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成26年4月1日<br>至平成26年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失( ) | 27,487                                       | 73,385                                       |
| 四半期包括利益            | 27,487                                       | 73,385                                       |
| (内訳)               |  |  |
| 親会社株主に係る四半期包括利益    | 27,487                                       | 73,385                                       |
| 少数株主に係る四半期包括利益     | -  | -  |

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 日本年金機構千代田年金事務所に敷金及び保証金3,595千円が差押となっておりますが、対応する債務については計画に従い継続して返済しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

|         | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成25年4月1日<br>至 平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成26年4月1日<br>至 平成26年12月31日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費   | 41,313千円                                       | 36,070千円                                       |
| のれんの償却額 | 1,029千円  | 1,029千円  |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年5月29日付で、株式会社ページワンを引受先とした第三者割当により自己株式を処分しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が103,923千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式は保有しておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

|                       | 報告セグメント   |            |           | その他 | 合計        | 調整額<br>(注) | 四半期連結損益<br>計算書計上額 |
|-----------------------|-----------|------------|-----------|-----|-----------|------------|-------------------|
|                       | ヒロタ<br>事業 | イルムス<br>事業 | 計         |     |           |            |                   |
| 売上高                   |           |            |           |     |           |            |                   |
| 外部顧客への売上高             | 1,575,574 | 786,117    | 2,361,691 |     | 2,361,691 |            | 2,361,691         |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高 |           |            |           |     |           |            |                   |
| 計                     | 1,575,574 | 786,117    | 2,361,691 |     | 2,361,691 |            | 2,361,691         |
| セグメント利益又は損失<br>( )    | 36,622    | 17,717     | 18,904    |     | 18,904    | 33,808     | 14,904            |

(注) 1 セグメント利益又は損失( )の調整額 33,808千円は、主に報告セグメントには配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失( )と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

|                       | 報告セグメント   |            |           | その他 | 合計        | 調整額<br>(注) | 四半期連結損益<br>計算書計上額 |
|-----------------------|-----------|------------|-----------|-----|-----------|------------|-------------------|
|                       | ヒロタ<br>事業 | イルムス<br>事業 | 計         |     |           |            |                   |
| 売上高                   |           |            |           |     |           |            |                   |
| 外部顧客への売上高             | 1,482,942 | 693,896    | 2,176,839 |     | 2,176,839 |            | 2,176,839         |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高 |           |            |           |     |           |            |                   |
| 計                     | 1,482,942 | 693,896    | 2,176,839 |     | 2,176,839 |            | 2,176,839         |
| セグメント利益又は損失<br>( )    | 18,140    | 12,183     | 30,324    |     | 30,324    | 29,490     | 59,815            |

(注) 1 セグメント利益又は損失( )の調整額 29,490千円は、主に報告セグメントには配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失( )と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ヒロタ事業」及び「イルムス事業」において、店舗の閉鎖が決定し回収が見込めなくなった固定資産について減損処理いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「ヒロタ事業」267千円、「イルムス事業」290千円であります。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目                     | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成25年4月1日<br>至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成26年4月1日<br>至平成26年12月31日) |
|------------------------|--|--|
| (1) 1株当たり四半期純損失金額( )   | 7円05銭  | 16円75銭                                       |
| (算定上の基礎)               |  |  |
| 四半期純損失( )(千円)          | 27,487                                       | 73,385                                       |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)       |  |  |
| 普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円) | 27,487                                       | 73,385                                       |
| 普通株式の期中平均株式数(株)        | 3,896,200                                    | 4,381,380                                    |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

## (連結子会社の増資)

当社の連結子会社である株式会社イルムスジャパンは、資本増強策の一環として、平成27年1月22日開催の取締役会及び同日開催の臨時株主総会におきまして、第三者割当による新株式の発行を決議し、平成27年1月30日に払込が完了いたしました。

本増資の概要は、以下のとおりであります。

- (1) 株式の種類及び数 : 株式会社イルムスジャパン普通株式 3,200株
- (2) 発行価額 : 1株につき3,125円
- (3) 発行総額 : 10,000千円
- (4) 資本組入額 : 10,000千円
- (5) 割当先及び割当株数 : 2 1 L A D Y 株式会社(1,600株)、個人(1,600株)

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年2月13日

21LADY株式会社  
取締役会 御中

才和有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 原 健人 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 菊池 今朝義 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている21LADY株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、21LADY株式会社及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社の連結子会社である株式会社イルムスジャパンは、資本増強策の一環として、平成27年1月22日開催の取締役会及び同日開催の臨時株主総会において、第三者割当による新株式の発行を決議し、平成27年1月30日に払込が完了している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。